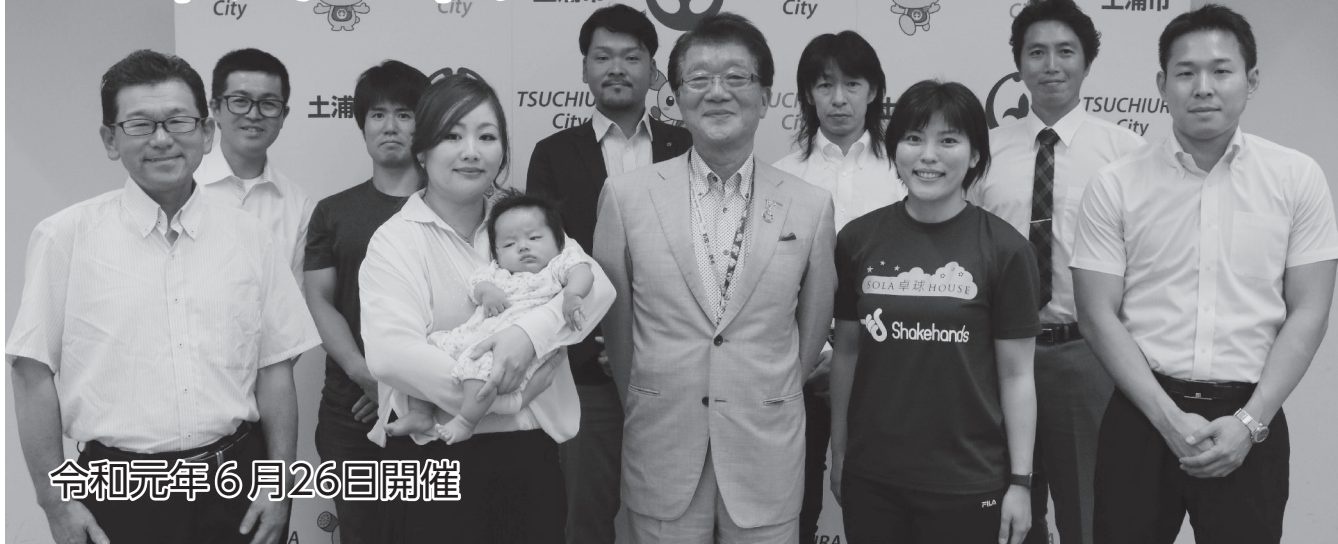


『農業×経営』の視点で産業を考える

市民と市長のまちかどトーク



令和元年6月26日開催

市民と市長のまちかどトークとは、市民と行政が一体となった協働のまちづくりの一環として、市長が市民からの市に対する意見やアイデアなどを直接聴き、市政運営の参考にすることを目的に行っています。

今年度は、土浦青年会議所と市内農業従事者の皆さんを対象に、「土浦市の地域資源を活かした産業によるまちづくり」をテーマに座談会を開催しました。当日、参加者の皆さんからいただいたさまざまなご意見を紹介します。

問広報広聴課 ☎826-1111 内線2376

霞ヶ浦、りんりんロード、レンコン…



土浦市の地域資源といえば全国第二位の面積を誇る霞ヶ浦だと思います。同じように霞ヶ浦に面している稲敷市では釣りのイベントが人気ですので、土浦市でも開催してみてもどうでしょうか。

霞ヶ浦といえば、隣接するつくば霞ヶ浦りんりんロードも貴重な地域資源ですね。私は、趣味でロードバイクをやっているので、土浦市でもレースなどのサイクリングイベントを開いてほしいです。

釣りのイベントは、市の主催ではありませんが、すでに行われています。たとえば、土浦新港を活用して民間団体が行っているイベントは賑わいを見せています。

総延長180キロメートルの日本一のサイクリングロードは他に類を見ない、大きな可能性を持っている地域資源です。

土浦市はサイクリングのまちを目指していますので、さまざまな主体によるイベントの開催を通じて交流人口を増やすことが望ましいですね。





土浦市の地域資源といえば、日本一の生産量を誇るレンコンですが、まだまだ知名度が低いです。
中高生を含めた若者向けの食べ方を開発するなど、万人受けするPR方法があればと思います。



蓮

農家にとっては、従業員の確保が問題です。地元の方であれ、外国人の研修生であれ、なかなかこちらの条件と折り合いがつく人がいないのが現状ですね。

レンコンの食べ方について、「レンコンはここで食べられる！」と案内できるお店がないので、レンコンの専門店をつくることを民間へ働きかけているところです。
雇用については、家族単位の経営から農業の法人化を考え、多種多様な人材を確保するというのもこれからの時代の流れではないでしょうか。



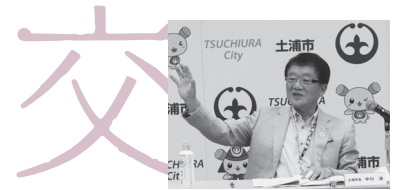
食



農

畜産、牛肉の販売をしています。青年層の農業従事者を増やすために、市ではさまざまな周知を行っています。私の周りのお母さん世代は知っている人があまりいないのが現状です。若い方への情報発信をもっと工夫していただければと思います。

土浦市では、農村部と都市部の交流事業として農業体験を行っています。
また、効果的な情報発信は、交流人口の呼び込みを図るために必要となるので、これまで以上に戦略的かつ積極的な情報発信を行っていきます。



交



コンビニの経営をしている立場から、一人暮らしの高齢者を中心に買物難民の増加を心配しています。大手企業が対応できない範囲の宅配などで地域の力になれることがあるのではないかと考えています。

少子高齢化により消防団や自衛消防の担い手がなくなっています。今後の存続についても地域の課題ですね。



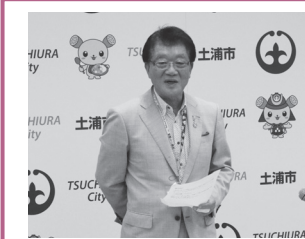
協

私は卓球教室を地元で開いています。卓球は生涯スポーツであり、幅広い世代の方が楽しめるので、地域の交流の場として利用できるような環境整備を行っていただければと思います。

皆さんのおっしゃるように地域とのつながりを考えることがこれまで以上に求められます。持続可能なまちづくりを目指すために、さまざまな分野で地域と行政がそれぞれの役割分担をしっかりと果たすことができる体制をつくっていきます。



絆



限られた時間にもかかわらず、貴重なご意見をいただきありがとうございました。これからは、農業・商業に限らず、すべてが大きく変わり、変化を求められます。これまでの常識が通用しなくなる時代を良くしていくため、皆さんに大いに活躍を期待しています。
我々も無駄を省いた行財政改革の推進、市民と行政が互いに支えあう協働のまちづくりという二本柱を軸に頑張っていきます。